

(人文・社会科学専攻)

(注意) 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入せよ。正しく記入していない場合には採点されない  
ので注意せよ。

1 下記の文章を読み、設問に答えなさい。

イラン高原から中央アジアにかけての地域には、9世紀後半にイラン系のイスラーム国家 [A]  朝が成立した。このイラン系国家は積極的なイスラーム教の布教活動をおこなった。10世紀なかごろ、この国家の北東側の地域にトルコ系の国家 [B]  朝が成立したが、この王朝は、トルコ系では最初のイスラーム国家となった。この王朝は、999年ブハラを攻略して上述のイラン系イスラーム国家を滅ぼし、中央アジアの支配権を確立した。他方、10世紀末ころ中央アジアのシル川下流域でイスラーム化したトルコ人たちは、11世紀前半にホラーサーン地方 (イラン北東部) へ進出し、セルジューク朝を樹立した。その後、西方へ進出したセルジューク朝は、1055年には [D]  に入城してブワイフ朝を滅ぼした。

北アフリカでは、11世紀なかごろ、ベルベル人のイスラーム化が進展した。イスラームを受容したベルベル人は [F]  朝を建国してマラケシュに首都を定めた。この王朝はモロッコからアルジェリアにいたる北アフリカ西部を支配下におき、イベリア半島へも勢力をのぼした。12世紀に建国された [G]  朝も、マラケシュを首都として北アフリカを支配し、イベリア半島へも勢力をおよぼした。しかし、イベリア半島のイスラーム勢力は13世紀にコルドバを喪失し、グラナダを中心に勢力を維持する状態となった。そして、1492年スペイン王国がグラナダを陥落させると、イスラーム教徒の多くは北アフリカへ撤退した。

西アフリカでは、[J]  王国が、11世紀後半に北アフリカのイスラーム王朝から攻撃を受けて衰退した。その後、13世紀になると [K]  王国が成立し、15世紀には [L]  王国が形成された。以上のうち、後のふたつの王国の支配者たちは積極的にイスラーム教を受容した。ニジェール川中流域の交易都市 [M]  は商業とイスラーム学の中心地として栄え、多数の商人やウラマーが集った。

インドに対するイスラーム勢力の侵入は10世紀より本格化した。10世紀なかごろ、アフガニスタンにガズナ朝というトルコ系のイスラーム国家が成立したが、ガズナ朝は北インドへの侵入を繰り返した。12世紀なかごろ、ガズナ朝から独立した [N]  朝も、やはり北インドへしばしば侵入した。13世紀初め、この王朝の武将 [O]  はデリーに独立した政権を樹立し、これがインドにおける最初のイスラーム王朝となった。その武将の樹立した王朝は奴隷王朝といわれた。なお、デリーには、13世紀から16世紀のムガル帝国形成までの間に、奴隷王朝をふくむ5つのイスラーム王朝が建国された。

東南アジアでも、13世紀の後半にはスマトラ島の北東岸地域でイスラーム教を受容されたようである。しかし、東南アジアのイスラーム化により大きな影響を与えたのは、1400年ころマレー半島に形成された [R]  王国の支配層がイスラーム教を受容したことであった。その後、イスラーム教はこの王国の交易ネットワークにそって東南アジアの諸島部各地へ普及していった。

設問 1 空欄[A]に入る王朝名を答えなさい。

設問 2 空欄[B]に入る王朝名を答えなさい。

設問 3 下線部[C]のセルジューク朝の創始者がアッバース朝のカリフから授与された称号を答えなさい。

設問 4 空欄[D]に入る都市名を答えなさい。

設問 5 下線部[E]のブワイフ朝の支配者が10世紀なかごろにアッバース朝のカリフから授与された称号を答えなさい。

設問 6 空欄[F]に入る王朝名を答えなさい。

設問 7 空欄[G]に入る王朝名を以下のなかから選びなさい。

アイユーブ    ファーティマ    ムワッヒド

設問 8 8世紀に、下線部[H]の都市を首都としたイスラーム王朝の名称を答えなさい。

設問9 下線部[I]のグラナダを首都としたイベリア半島最後のイスラーム王朝の名称を答えなさい。

設問10 下線部[I]のグラナダには、イスラーム建築の最高傑作のひとつといわれる建築物が存在する。この建築物の名称を答えなさい。

設問11 空欄[J]に入る王国名を以下のなかから選びなさい。

アクスム ガーナ クシュ

設問12 空欄[K]に入る王国名を以下のなかから選びなさい。

マリ マリンディ マンディ

設問13 空欄[L]に入る王国名を答えなさい。

設問14 空欄[M]に入る都市名を答えなさい。

設問15 空欄[N]に入る王朝名を答えなさい。

設問16 空欄[O]に入る人物名を答えなさい。

設問17 下線部[P]の奴隷王朝という名称は、この王朝の創始者やそれに続く支配者が奴隷出身であったことに由来する。ところで、19世紀までのイスラーム諸国家ではトルコ系などの奴隷軍人が活躍した。彼らは何とよばれたか、その名称を答えなさい。

設問18 下線部[Q]のムガル帝国では、第3代皇帝がヒンドゥー教徒に対する融和政策をとった。この第3代皇帝の名称を答えなさい。

設問19 下線部[Q]のムガル帝国の第5代皇帝が建築させた愛妃の廟は、インド＝イスラーム文化の代表的建築といわれる。この建築物の名称を答えなさい。

設問20 空欄[R]に入る王国の名称を答えなさい。

2 下記の文章を読み、設問に答えなさい。

中国では、日清戦争後に外国勢力の干渉が**いっそう強まった**。ロシア、ドイツ、フランス、イギリス、日本はそれぞれの勢力圏を形成し、アメリカはこの中国の分割競争へ割りこもうとした。<sup>[ア]</sup>清朝は日本をモデルとした改革を推進しようとしたが、保守派の反対により**わずか100日余りで失敗に終わった**。<sup>[イ]</sup>こうした状況下で、民衆の不満や怒りは高まった。すでにキリスト教の布教は公認され、その布教活動が展開されていた中国では、反キリスト教運動が各地で発生していた。<sup>[ウ]</sup>とりわけ、山東省では民衆の民族的感情が高まり、義和団という宗教的武術集団が支持を獲得していった。義和団は、<sup>[エ]</sup>「**カ**」をとらえ、キリスト教の教会や商社を襲撃し、鉄道や電信線を破壊した。1900年に北京に入ると、義和団は外国公使館を包囲した。これに反応した清朝の保守排外派が各国に宣戦を布告すると、各国は共同出兵で応じた。すなわち、日本やロシアを含む8カ国の連合軍は北京を占領し、在留外国人を救出した。敗北した清朝は、1901年に北京議定書（辛丑和約）を調印した。<sup>[オ]</sup>

朝鮮は、独立国であることを明確にするため、1897年に国号を「**ケ**」と改め、支配者は「**コ**」という称号を使用した。だが、日本は3次にわたる日韓協約を通して実質的支配を強めた。日本の圧力に対抗するため、高宗はハーグの万国平和会議に密使を派遣して国際世論に訴えた。また、民衆も各地で武装闘争をおこすなど抵抗運動を活発化させた。しかし、日本は「**シ**」年に韓国を併合し、朝鮮総督府をおいた。<sup>[カ]</sup>

タイ以外の地域が植民地支配下におかれた東南アジアでも、19世紀末から20世紀初めにかけて民族運動が活発化した。19世紀末のフィリピンでは、「**ス**」が言論活動を通して民族意識の覚醒をうながした。1896年にフィリピン革命がおり、「**セ**」たちの指導する革命軍が共和国を樹立した。しかし、「**ソ**」からフィリピンの領有権を獲得したアメリカに敗北した。ベトナムでは、「**タ**」からの独立をめざす知識人たちが維新会を1904年に結成した。また、その団体の結成に関与した「**チ**」は、人材養成のため青年を日本へ留学させる「**ツ**」運動を提唱した。そして、約200名のベトナム青年を日露戦争後の日本へ送った。「**テ**」支配下のインドネシアでは、1908年にブディ＝ウトモが結成され、インドネシア人の社会的地位や文化の向上を求めた。1911年には、知識人や商人層が中心となって「**ト**」が結成され、自治や独立を求める活動を展開した。

- 設問1 下線部[ア]について、以下の中からフランスの勢力圏に関する記述として適当なものをA～Eのなかから選びなさい。
- A. 膠州湾を租借し、山東省を勢力圏とした。
  - B. 福建省を勢力圏とした。
  - C. 広州湾を租借し、広東・広西・雲南方面の地域を勢力圏とした。
  - D. 威海衛と九竜半島を租借し、長江一帯を勢力圏とした。
  - E. 旅順と大連を租借し、東三省を勢力圏とした。
- 設問2 下線部[イ]について、中国の門戸開放・機会均等・領土保全を1899～1900年に提唱したアメリカ合衆国の国務長官の名前を答えなさい。
- 設問3 下線部[ウ]について、1898年の政治改革を弾圧した事件の名称を答えなさい。
- 設問4 下線部[エ]について、キリスト教の布教が公認されたのはどの事件の直後か。以下のA～Dのなかから選びなさい。
- A. アヘン戦争(1840～42年)      B. アロー戦争(1856～60年)
  - C. 太平天国の乱(1851～64年)      D. 清仏戦争(1884～85年)
- 設問5 19世紀の中国で発生した下線部[オ]のような排外運動をなんというか。運動の名称を答えなさい。
- 設問6 空欄[カ]には義和団が掲げたスローガンが入る。以下のA～Dのなかからそれを選びなさい。
- A. 扶清滅洋      B. 滅満興漢      C. 恢復中華      D. 扶助工農
- 設問7 下線部[キ]について、宮廷保守派の中心的人物を答えなさい。
- 設問8 下線部[ク]の北京議定書(辛丑和約)の内容にふくまれないものを、以下のA～Dのなかから選びなさい。
- A. 外国軍隊の北京駐留
  - B. 日本、ドイツへの謝罪使の派遣
  - C. 賠償金4億5000万両の支払い
  - D. 外国人の中国国内での旅行の自由
- 設問9 空欄[ケ]に入る語を答えなさい。
- 設問10 空欄[コ]に入る語を答えなさい。
- 設問11 下線部[サ]のような朝鮮民衆の反日武装闘争は、19世紀末から20世紀初めにかけて繰り返し発生した。こうした抵抗運動の名称を答えなさい。
- 設問12 空欄[シ]に入る数字を答えなさい。
- 設問13 空欄[ス]に入る人物名を以下のなかから選びなさい。
- カティパーナン      マロロス      ホセ＝リサール
- 設問14 空欄[セ]に入る人物名を答えなさい。
- 設問15 空欄[ソ]に入る国名を答えなさい。
- 設問16 空欄[タ]に入る国名を答えなさい。
- 設問17 空欄[チ]に入る人物名を以下のなかから選びなさい。
- ファン＝ボイ＝チャウ      ファン＝チュー＝チン      ホー＝チ＝ミン
- 設問18 空欄[ツ]に入る運動の名称を答えなさい。
- 設問19 空欄[テ]に入る国名を答えなさい。
- 設問20 空欄[ト]に入る団体の名称を答えなさい。

3 下記の文章を読み、設問に答えなさい。

アルザスとロレーヌはフランス北東部、ドイツ国境に近いライン川西岸の地域である。ケルト人が住んでいたこの地方は、紀元前1世紀のなかば、カエサルに征服されてからローマの属州となった。ついでゲルマン人に侵入され、大部分がフランク王国に服属することとなった。その支配は、(ウ)条約を経て東フランク王国へ、そして神聖ローマ帝国に引き継がれた。しかし封建諸侯、都市、教皇などの支配関係が入り組み、それらの対立を利用してフランスはしだいに勢力を拡大するようになった。1552年フランス王アンリ2世が3司教領を奪い、絶対王政の確立期には三十年戦争参加政策によって、(オ)条約でフランスはアルザスを獲得した。ルイ14世は、国境は山脈や川などの地理的条件によって定められるべきだとする(カ)説を唱え、その完成に向けて前進させた。ロレーヌは紆余曲折を経て1766年にフランスの支配に服した。フランス革命戦争とナポレオン戦争時代、フランスはライン左岸を併合したが、ナポレオンの没落後、フランス勢力は後退し、ウィーン会議で辛うじてアルザス・ロレーヌを保有した。1871年、普仏戦争の結果、両地方の大部分はドイツ領となった。これらの地方からは良質の石炭・鉄がでたのでこの意味でも重要性が増した。また住民はドイツ系が多いが、文化的にはフランス化されているなど、複雑な要素を含み、この地をめぐる独仏の関係はしばしば緊張を招いた。第一次世界大戦の休戦後フランス軍が進駐し、ヴェルサイユ条約でアルザス・ロレーヌはふたたびフランス領に編入され、(ケ)条約でドイツは重ねてその放棄を確認した。第二次世界大戦中フランス軍が敗れ、1940年6月の休戦条約でアルザス・ロレーヌはドイツの占領地区とされたが、ヒトラーはヴィシー政府の反抗を排して、アルザス・ロレーヌを併合した。第二次大戦後アルザス・ロレーヌはフランスに復帰した。

設問1 下線部アについて、この征服に関するカエサルの著作を答えなさい。

設問2 下線部イについて、初代国王の名を答えなさい。

設問3 (ウ)に適する語を答えなさい。

設問4 下線部エについて、王朝名を答えなさい。

設問5 (オ)に適する語を答えなさい。

設問6 (カ)に適する語を答えなさい。

設問7 下線部キについて、革命前の主権と領土を正統とし、革命前の状態に戻るべきだと説いた、フランスの代表の名を答えなさい。

設問8 下線部クについて、第二帝政崩壊後、臨時政府の行政長官に任命され、第三共和政の初代大統領となった人物の名を答えなさい。

設問9 (ケ)に適する語を答えなさい。

設問10 下線部コについて、その首班の名を答えなさい。

神聖ローマ帝国皇帝カール6世が没し、娘のマリア=テレジアが即位すると、領土的野心から(シ)、ザクセン、スペインが異議を唱え、ハプスブルク家と長年敵対関係にあるフランスがこれを支持した。一方、プロイセン王フリードリヒ2世も根拠のない要求権をかかげてシュレジエンを占領したが、フランスはプロイセンとも同盟した。このため、マリア=テレジアは、海外植民地をめぐりフランスと争っているイギリスの援助はあったものの、苦しい戦いをよぎなくされた。結局、(セ)で、プロイセンは重要な工業地帯であるシュレジエンの領有を確保することでこの戦争の実質的な勝利者となった。他方、マリア=テレジアはオーストリア全領土の継承を認められたものの、大きな痛手を受け、ここからオーストリア、イギリス間に政治的な疎隔が生まれた。

オーストリア継承戦争でシュレジエンをプロイセンに割譲したマリア=テレジアは失地の回復を企て、国家体制の強化に努め、ザクセンなどのドイツ諸邦と接近し、フランスとの対立を捨てた。これに対して、プロイセンのフリードリヒ2世はイギリスと(タ)の保護を約して同盟し、1756年機先を制してザクセンに侵入した。ヨーロッパでの戦いはプロイセンのシュレジエン領有を再確認して戦争は終わった。プロイセンはこの戦争を堪えぬいたことで列強の地位を得た。植民地においてもイギリスとフランスの間で戦争が起こり、ヨーロッパでプロイセンに財政的援助をするにとどまったイギリスが優位に立ち、アメリカでは(チ)戦争で勝利を収め、インドでも(ツ)でフランスを制し、(テ)条約でフランスはアメリカの全植民地と、2, 3の都市を除くインドを失った。

- 設問11 下線部サについて、16人の子供がいたがそのうち1名を挙げなさい。
- 設問12 (シ)に適する語を答えなさい。
- 設問13 下線部スについて、家系名を答えなさい。
- 設問14 (セ)に適する、オーストリア継承戦争の終結条約名を答えなさい。
- 設問15 下線部ソについて、これをなんと呼ぶのか答えなさい。
- 設問16 (タ)に適する地名を答えなさい。
- 設問17 (チ)に適する語を答えなさい。
- 設問18 (ツ)に適する語を答えなさい。
- 設問19 (テ)に適する語を答えなさい。
- 設問20 下線部トについて、その都市名をひとつ挙げなさい。

ローマ教皇の世俗的所領の起源は、5～6世紀の教皇たちがローマおよびその周辺の自領をサン＝ピエトロ大聖堂に寄進したことに始まる。(ナ)帝がイタリアを再び東ローマ帝国領としても、その支配権は弱く、教皇の政治的意義は増大し、7世紀には教皇はラティウム地方の主権的所有者となった。教皇と東ローマ皇帝レオン3世は(ニ)問題をめぐって対立し、ローマ教会と東ローマ帝国とを結ぶきずなは有名無実のものとなった。(ヌ)は、北イタリアよりしだいに勢力を伸ばし、ローマをも危うくした。751年教皇はピピン3世のクーデタを正当化してフランク王権に接近し、ピピンの寄進を受けた。教皇領の確実な基礎はこのとき築かれた。この寄進領はカール大帝による(ヌ)滅亡によって拡大された。カールのこの寄進領は、962年神聖ローマ帝国皇帝オットー1世により再確認された。グレゴリウス7世のときトスカーナの一部を、インノケンティウス3世のときローマ<sup>ネ</sup>地方を得、教皇領は最大版図に達した。1309年教皇庁がアヴィニョンにうつると、教皇領はイタリア中小貴族たちの独立の餌食となり、1378年以後の教会大分裂は、いよいよ教皇の権力を弱め、教皇領の各都市の独立性を高める結果になった。ついで、いわゆるルネサンス教皇時代は、政治意欲の強烈な教皇が相つぎ、教皇領を再び強力な国家にまで高め、武力を持って領土を拡張しようとした。しかし18世紀には教皇の政治力はしだいに微弱なものとなり、フランス革命、ナポレオン時代に教皇領は打撃を受けた。ウィーン会議により教皇領はその大部分を回復したが、自由主義、国民主義の波はここにも迫り、1831年、1849年の革命は外国軍隊の力で鎮圧されたもの、イタリア全土に沸き起こる民族統一運動には抗しえず、サルデーニャ王国を中心とするイタリア統一運動により、教皇領の大部分が奪われた。1870年、ローマを守っていた(ヘ)軍の撤退に乗じて、ヴァチカンを除くすべてがイタリア王国に占領・併合された。以後、教皇は「ヴァチカンの囚人」と宣言し、イタリア王国と対立を続けた。

- 設問21 (ナ)に適する語を答えなさい。
- 設問22 (ニ)に適する語を答えなさい。
- 設問23 (ヌ)に適する語を答えなさい。
- 設問24 下線部ネについて、彼がカンタベリ大司教の選出をめぐって破門した人物の名を答えなさい。
- 設問25 下線部ノについて、この出来事は故事になぞらえて何と呼ばれているのか答えなさい。
- 設問26 下線部ハについて、これを終わらせた公会議が開かれた場所を答えなさい。
- 設問27 下線部ヒについて、1849年2月にローマ共和国が樹立された際に、三頭政治の一人に選ばれた人物の名を答えなさい。
- 設問28 下線部フについて、この王国の首都は、イタリア王国が成立した際もその首都となったが、そのその都市名を答えなさい。
- 設問29 (ヘ)に適する国名を答えなさい。
- 設問30 下線部ホについて、これを和解することになった条約名を答えなさい。

防衛大学校本科第58期学生

一般採用試験第1次試験問題正誤表

専攻	人文・社会科学
教科	地理歴史
科目	世界史

修正箇所	誤	正
<p>試験問題</p> <p>5頁中の5 (下から4行目)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> 設問28</p>	<p>下線部フについて、この王国の首都は、イタリア王国が成立した際もその首都となったが、その<u>その都市名</u>を答えなさい。</p>	<p>下線部フについて、この王国の首都は、イタリア王国が成立した際もその首都となったが、その都市名を答えなさい。</p>

※ 二重線は、修正箇所を示す。